

支援センターだより

〒780-0972 高知市中万々78 番地
高知県立高知ろう学校 相談支援部
電話 088-823-1640 FAX 088-823-1752

平成30年度
第2号



汗ばむ日が続きますね。昨年のセンターだよりでは、補聴器のクリーニングシステムを紹介させていただきました。遊びから帰ってくると、子どもの頭はとて汗をかいていますね。補聴器乾燥機などが、すぐに手元にない場合、耳周りや補聴器をタオルでさっと拭くだけでも違ってきます。夏を越して、汗のため故障しないよう、しっかりと管理しましょう。

遊びや体育、部活動で汗をかいたとき

補聴器や耳、耳回りの髪の毛をタオルで拭きましょう。
補聴器乾燥機があれば、乾燥ができます。



補聴器乾燥機

補聴器用の汗拭きタオルを用意しておくとう便利です。自分で管理する習慣付けにもなります。



新刊書籍の紹介

「龍の耳を君に」丸山正樹 著
東京創元社

法廷の手話通訳士を中心としたミステリー小説でありながら、手話で学ぶ学校、通級教室、特性に応じた配慮、聾学校と他の特別支援学校との併設など今日的課題について触れられており、興味深い内容でした。高知市民図書館でも借りることができます。



高知ろう学校サマースクールのご案内

日時：平成30年8月5日（土）

10:00～12:00

聴覚障害のある幼児や児童、その兄弟が集まって、遊んだり工作などをして交流を広げる行事です。保護者や保育士、教員向けの学習会もあります。詳細につきましては、HPをご覧ください。



新任特別支援学級担任研修会より

6月22日（金）に本校で新任特別支援学級担任研修会が行われました。高知ろう学校での授業体験や個別の指導計画、指導案の書き方についての演習が行われました。難聴学級の先生が6名参加され、研究協議では、自立活動の内容や障害理解について、疑問点を解消されていました。子どもさん自身の認識を育てるという点については、まず、補聴器や人工内耳を自分にとって大切なものとして、手入れや管理を正しくできるようにすること、また、自分が分かりやすい方法やどうしてほしいかを周りの人に伝えることができるようにすることが大事だと思います。

研修会のご案内

平成30年7月27日（金）13:30～16:30

【場所】高知ろう学校

【講演】聞こえにくい子どもたちの日本語力を高め、コミュニケーションを高める効果的な指導について

【講師】筑波大学人間系 准教授 左藤敦子氏

【対象】幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校教職員

四国オーティオロジー研究協議会研修会より

6月9日（金）に松山で、「難聴の子ども英語学習」に関する研修会が行われました。本県からも小学校、中学校、聾学校の教員が6名参加しました。英語の授業では、音声でのコミュニケーションが重視されています。しかし、難聴児に対しては、文字やカタカナ表記も視覚的補助として重要であること、苦手意識を持つ生徒にどう向き合うかなど、大変参考になる内容でした。